

# 「県内土建業の明日のために」

山梨大学名誉教授・前山梨大学副学長

伊藤 洋

二〇〇七年九月二八日

本紙9月7日付「記者  
の目」欄に、「トマト栽培  
やビジネスホテル」と題  
して、「生き残り」の「苦  
闘」が報じられていた。  
ま、今に栄枯盛衰「昔の  
光、今いずこ」である。  
山梨県の土木建設業が  
業界として高度成長を開  
始したのはいわゆる「三  
四災害」と呼ばれる大規  
模台風被害が契機になっ  
た。

昭和34年（1959）

8月4日、富士川から  
釜無川に沿って北上した  
台風7号は、北巨摩地域  
を中心にして死者18  
を、中心に死者1、8  
9人、流失・全壊家屋1、  
91戸という未曾有の  
大惨害をもたらした。こ  
れに対しても、府は災害救  
助法を模動し、府下全域  
で大規模な災害復旧事業  
が開始された。この一年に  
無慈悲にもこの年に、  
の9月26日、この年に、  
勢いよく台風1と名付られ  
した巨大台風1と名付られ  
中心に愛知など5号が襲  
を、超える死者5、000  
たのである。病、神も襲  
災害救助法が発動され

事が開始される。現  
るが、開始される。現  
ある記念碑は、この  
造られた三、四、災害  
シンボルと言った。公  
この大規模な公共事  
に、この大規模な公共  
は、この大規模な公共  
ノ、この大規模な公共  
い、この大規模な公共  
い、この大規模な公共  
し、この大規模な公共  
年、この大規模な公共  
怒、この大規模な公共  
山、この大規模な公共  
海、この大規模な公共  
激、この大規模な公共  
期、この大規模な公共  
疎、この大規模な公共  
が、この大規模な公共  
の、この大規模な公共  
制、この大規模な公共  
還、この大規模な公共  
シ、この大規模な公共  
な、この大規模な公共  
金、この大規模な公共  
強、この大規模な公共  
県、この大規模な公共  
め、この大規模な公共  
政、この大規模な公共  
の、この大規模な公共  
建、この大規模な公共  
い、この大規模な公共  
間、この大規模な公共

間、この大規模な公共

